



東稲ニュース

第 143 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

2025 年 9 月 10 日発行

発行責任者 山口 謙二

編集責任者 片平 るみ

E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com

http://higashikurume-toumonkai.com/

事務局 大矢 真弘 Tel 042-475-8532

秋の懇親会

記録的猛暑に苦しめられた今年の夏でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。実りの秋に向け穏やかな気候を望みたいものです。9月10日付け本号から2ヶ月ほど先ですが、下記要領で秋の懇親会を開催します。この会はまさに「懇親」そのものを目的として一切堅苦しい事のない「肩の力が抜ける」会です。秋の好日の午後、会員・校友が一同に会して、音楽・料理・お酒・おしゃべりを楽しむ会です。今回お誘いする20～40歳台の方々は日頃公私に亘って多忙な日々を送っていらっしゃるかと拝察します。ちょっとお時間があり、お気が向かれましたら会場を覗いてみて下さい。優しい先輩達が皆様を歓迎します。



- 会 場： 成美教育文化会館 3階 大研修室 (13:00～16:30 予約)
- 実施日時： 11月8日(土) 13:30～16:00
- 案内対象： 会員並びに20代～40代の校友(ご招待：大学のメールアドレスにて案内)
- 余 興： マリンバ・サクソ演奏 「ぼむぼっけ」 田中里幸氏・森川亞覽氏

山口 謙二 記

会の告知板

【部会予定】

9月	25日	(木)	映画鑑賞会「東京物語」	14:00～	成美教育文化会館
10月	2日	(木)	三田会との合同コンペ		飯能グリーンCC
10月	5日	(日)	2025年度第3回役員会	16:00～	生涯学習センター
10月	25日	(土)	第6回ポッチャくるめカップ	10:30～15:30	3チーム出場予定
11月	1日	(土)	野球早慶戦観戦		神宮球場
11月	2日	(日)	ラグビー帝京戦		秩父宮ラグビー場
11月	2～4日	(日～火)	書道部第13回作品展	10:00～16:00	スペース105
11月	8日	(土)	秋の懇親会	13:30～	成美教育文化会館
11月	13日	(木)	秋の稲門会コンペ		熊谷GC

【大学・校友会関係】

9月	7日	(日)	三多摩支部大会	大隈小講堂
9月	25日	(木)	稲門祭実行委員会	早稲田大学
10月	4日	(土)	秋季幹事長・事務局長会	早稲田大学
10月	4日	(土)	秋季代議員会	早稲田大学
10月	19日	(日)	稲門祭	早稲田大学
10月	25日	(土)	小平稲門会総会	小平市民文化会館
11月	22日	(土)	東村山稲門会総会	サンパルネコンベンションホール
11月	29日	(土)	23区部・三多摩支部合同会長懇話会	大隈記念タワー「森の風」

【各部会定例活動一覧】

部会	9月				10月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	10	水	10:00～	中央町地区センタ	8	水	10:00～	中央町地区センタ
書道	14	日	13:00～	中央町地区センタ	12	日	12:40～	生涯学習センタ
俳句	21	日	10:00～	生涯学習センタ	19	日	10:00～	生涯学習センタ
囲碁	28	日	13:00～17:00	中央町地区センタ	26	日	13:00～17:00	中央町地区センタ
太極拳	6	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	4	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	20	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	11	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	27	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	18	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50～	東久留米スポーツセンタ	毎週金		10:50～	東久留米スポーツセンタ
	9月10日(月)～10月10日(金)まで、スポーツセンターの一時閉館につき活動中断							
ソフトボール	8	月	11:00～13:00	南町運動広場	6	月	11:00～13:00	南町運動広場
	22	月	11:00～13:00	南町運動広場	20	月	11:00～13:00	南町運動広場
					27	月	11:00～13:00	南町運動広場
ボッチャ	4	木	11:20～13:30	第一体育室	10	金	10:40～12:40	わくわく健康プラザ
	13	土	09:30～11:40	市民プラザ	11	土	13:00～15:30	第一体育室
	19	金	10:40～12:40	わくわく健康プラザ	14	火	11:20～13:30	第一体育室
	30	火	10:40～12:40	わくわく健康プラザ	23	木	13:40～15:50	第一体育室
ブリッジ	19	金	14:00～17:00	東部地域センタ	3	金	14:00～17:00	東部地域センタ
	26	金	15:50～18:50	生涯学習センタ	17	金	15:50～18:50	生涯学習センタ

会の報告

【商議員会報告】

日時： 2025年7月5日(土) 14時

場所： 大隈講堂

塚本良江会長から、早稲田大学は7年後の2032年に創立150年を迎えるが、日本を代表する大学からアジアをそして世界を代表する大学となり、周囲の人を幸せにする人間的力量のある人材育成を続けている。大学のHPにも載っているが、4月に昨年ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の田中代表理事と濱住事務局長代行(両名とも校友)が来校した。日本被団協の運動に対し風当たりが強くなった東西冷戦時代、原水爆禁止世界大会の会場探しに苦慮していたが、当時の大濱総長に掛け合い、記念会堂が会場として貸し出された思い出なども語られ、平和活動の持続に早稲田大学が寄与し、ノーベル平和賞につながったことを記憶にとどめておきたい等の挨拶があった。

引き続き議事に入り、商議員会2024年度収支決算と2025年度予算の説明があり承認され、大学の財務状況の報告があった。学事報告として田中愛治総長より、国際卓越研究大学への再挑戦は創立150周年記念事業と通じるものがあり、本学の教旨に基づき「教育・研究・貢献の早稲田」を進めていく。優秀な教員の採用、文理の融合、学部の垣根を取り払ったデータ科学教育、答えのないものへの挑戦等を通し世界人類に貢献する人材を育てるという力強い報告があった。

最後に早稲田大学への応援基金への支援のお願いがあり閉会したが、「学生が輝く早稲田の未来へ！」のため69万人の校友が1万円ずつ出していただければ毎年69億円の寄付が集まるということですので、会員の皆様、早稲田へのご支援をあらためてお願い申し上げます。

大矢 真弘 記

【三多摩会長会報告】

日時： 2025年7月6日（日）

場所： ビッグボックス東大和

当会から大矢事務局長と私が出席しましたので、その概要を報告します。三多摩26市の稲門会の会長・事務局長他大学来賓の計57名が出席しました。議事の主なものは前年度の事業報告・決算報告と当年度の事業計画・予算と型通りのものでした。今年度も10月19日の稲門祭に「サロン・ド・三多摩」が出店されますので、当会の方で稲門祭にお出での際には、大隈庭園のブースを訪ねてみてください。

当会の皆様にお知らせしておきたい数字を2つほど。三多摩地区の人口は約420万人で校友は約2,400名。因みに東京23区の人口970万人に対し校友は約3,700名だそうです。一口に早大の校友69万人と言いますが、校友会費納入者は17万人、内9万人は卒業時に会費を一括納入しているそうです。校友会に未加入の方がいらっしゃればご入会をご検討頂ければ幸いです。

締め誇らしい話を。恒例により式の締めに校歌斉唱をしますが、今回当会の大矢事務局長がリードを執られました。大矢さんは声が大きく、且つハリもあって大好評でした。「東久留米に人あり」と存在感を示す事が出来、満足感に浸って帰路に着きました。

山口 謙二 記

【役員会報告】

日時： 2025年8月3日（日）16:00～16:55

場所： 生涯学習センタ 学習室2

出席者：山口、小野、小山田、片平、有賀、金子、清水、中村、別処、山岡、青木、大塚、茅野、山縣、梶井、吉川、松崎、大矢

山口会長から、いなほ会や会員の状況等の報告の後、以下の事項について報告や意見交換が行われた。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- | | | | |
|------------------------|----------------|----------------------|-----------|
| (1) 三多摩支部大会 | 9/7 (日) | 早大「大隈小講堂」 | 山口・小山田・大矢 |
| (2) 稲門祭実行委員会 | 9/25 (木) | 早稲田大学 | 片平・梶井 |
| (3) 幹事長・事務局長会 | 10/4 (土) | 早稲田大学 | 大矢 |
| (4) 秋季代議員会 | 10/4 (土) | 早稲田大学 | 有賀・小山田 |
| (5) 早大稲門祭 | 10/19 (日) | 早稲田大学 | 片平・梶井 |
| (6) 小平稲門会 | 10/25 (土) | 小平市民文化会館 レゾリューションルーム | 山口・大矢 |
| (7) 東村山稲門会 | 11/22 (土) | サパルネコンベンションルーム | 山口・小野 |
| (8) 23区支部・三多摩支部合同会長懇話会 | 11/29 (土) | 大隈記念ター「森の風」 | 山口 |
| (9) 商議員フォーラム | 12/6 (土) | 早稲田大学 | 山口・大矢 |
| (10) 練馬稲門会ニューイヤークンサート | 2026年1月17日 (土) | 練馬文化センター | |
| (11) 幹事長・事務局長会 | 3/7 (土) | 早稲田大学 | 大矢 |
| (12) 春季代議員会 | 3/7 (土) | 早稲田大学 | 有賀・小山田 |

2 秋の懇親会

- 会場： 成美教育文化会館 3階 大研修室 (13:00～16:30 予約)
- 実施日時： 11月8日 (土) 13:30～16:00
- 案内対象： 会員並びに20代～40代の校友 (ご招待：大学のメールアドレスにて案内)
*9月10日発行の東稲ニュース *申込締切：10月15日 (水)
- 余興： マンバ・サックス 演奏「ぼむぼつけ」 田中里幸氏・森川亞覽氏 謝礼は2万円
<田中里幸 (タカ 州) 080-4428-1664 marineko_r@yahoo.ne.jp >
- 担当： 大矢

3 会費納入状況等

納入者数 121名 7/14現在 未納者数 8名

4 広報関係

原稿締切： 8月26日(火)

印刷日： 9月08日(月)15時～ 生涯学習センター印刷室 / 16時～ 生涯学習センター学習室5

5 組織強化補助金25万円の申請について

- (1) 稲門祭記念品購入の件
220,000円(目標額13万円)
- (2) 稲門祭へふるさと賞の寄付・・・25,000円程度
<柳久保かりんとう 400円 50袋程度)・・・10月初旬に送る>
- (3) 体育関係部への寄付5万円 <2025年度は「野球部」とした。>

6 映画鑑賞会

9/25(木)「東京物語」

*その後の日程は、11/27(木)、2026年2/26(木)、5/21(木)、9/24(木)、11/26(木)の予定。

7 今後の行事予定

- (1) 役員会
10/5(日)・12/7(日)・2026年2/1(日)・4/5(日)
- (2) 役員・部会長・会長経験者忘年会の日程等 12/7(日) 会場未定
- (3) 新年会の日程等
・2026年1/24(土) 13:30～16:00
・成美教育文化会館 3階大研修室 13:00～16:30 予約済
・案内は会員のみ

次回役員会について 2025年10月5日(日)16時より、生涯学習センターの予定

大矢 真弘 記

部会だより

【活動報告】

<俳句部会>

第299回 7月18日(日)

兼題： 胡瓜・旅を感じさせる句 他当季雑詠二句

<高点句>

ジャズピアノの藍の浴衣の客もいて 三浦洋子

海底を列車で北へ夏の旅 川島知子

<自選一句>

今生の旅いつまでか夏怒涛 横田慧子

夏の海引き揚げ船の十五才 馬場清彦

留守番は風鈴一つ旅に出る 片平るみ

ゆらゆらとラッパ吹きみる凌霄花 橘優治

見事かな越の平野の大青田 上原徹也

第300回 8月17日(日)

兼題： 花火・音楽を感じる句 他当季雑詠二句

<高点句>

花火果て海の匂いの濃くなりぬ 片平るみ

盆踊り東京音頭の輪に入る 三浦洋子

<自選一句>

キャンプの火肩組み唱ふ応援歌 橘優治

瀬戸内の島のフェリーや墓参り 上原徹也

草分けてたどりつきたり百合の花 川島知子

炎天下何を急ぐや蟻の列 馬場清彦

片平 るみ 記

<グルメ部会>

夏のグルメ部会は8月7日木曜日 ひばりが丘 唐苑にて開催されました。14名の参加となり当初予定しておりました個室12名をお店のご厚意により通常客室を仕切り14名に変更しての運びとなりました。高橋元会長の乾杯で始まり、前菜、エビチリ、手作り小籠包、名物黒酢豚、マーボー豆腐と進み、ビフェー形式による、お粥、スープ、小菜ときめ細かなおもてなしを受け、最後にデザートのお杏仁豆腐が出されて、なか締めを帆角元会長によってめて、つつがなく終了いたしました。二次会はひばりが丘駅近くの、まるたい商店で足りなかった、お酒とおつまみで済ませ、三次会は恒例のカラオケマックで熱唱して閉会となりました。次会は2月頃、小金井市の三光寺 OR 東久留米市南町のフィリッポを予定しております。奮っての参加をお待ち申し上げます。

吉田清郎 記



<カラオケ部会>

7月29日に「カラオケを楽しむ会」を開催しました。今回のオープニングは、このカラオケ会の常連で、6月3日に急逝されました比護喜一郎先輩を偲び、ご遺族からお借りした遺影を前に、比護先輩の十八番の「流氷（アローナイツ）」を高柳・帆角・平山の3御大で熱唱頂きました。

その後、井坂先輩の「百万本のバラ（加藤登紀子）」から始まり、出席者12名が得意の歌や今回のために練習されてきた歌など1名3曲ずつを披露しました。参加者全員が熱唱し、大先輩の皆様は毎年のことですが、年の差など全く感じさせない声量でした。エンディングは早稲田大学校歌を全員で高らかに歌いました。



- 〈参加者・歌唱曲・歌唱順〉敬称略
- オープニング 比護喜一郎先輩を偲んで「流氷」
- | | |
|------|------------|
| 井坂宏 | ①百万本のバラ |
| | ②愛燦燦 |
| | ③ろくでなし |
| 平山正徑 | ①流れて津軽 |
| | ②帰れないんだよ |
| | ③東京ブルース |
| 渡辺真司 | ①涙の太陽 |
| | ②シーサイドバウンド |
| | ③天使の誘惑 |

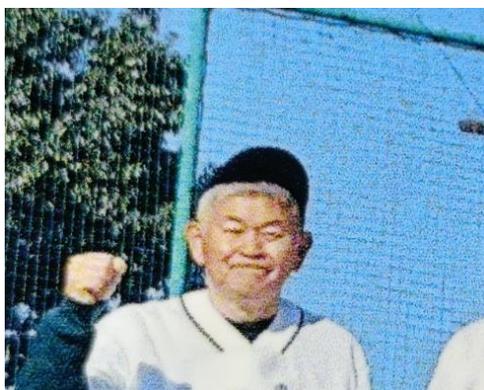


安次嶺暁	①九段の母	②ああ紅の血は燃ゆる	③湯島の白梅
後藤秀作	①モンローウォーク	②どうぞこのまま	③弥栄ヤッサイ
山口謙二	①くちなしの花	②城ヶ崎ブルース	③振り向かない
長束輝夫	①夢芝居	②糸	③青葉城恋歌
小山田朋樹	①夕風	②千曲川	③If We Hold On Together
青木規宜	①岬めぐり	②初恋	③花咲く旅路
馬場清彦	①東京 Hold Me Tight	②ひばりの佐渡情話	③望郷酒場
高柳康夫	①奥入瀬	②誰かが風のなかで	③サライ
帆角信美	①大阪しぐれ	②北の旅人	③北へ
エンディング	全員 早稲田大学校歌		

青木 規宜 記

<ソフトボール部会>

ソフトボール部の練習を楽しむ!



子育て、仕事を一区切りして、市の稲門会に二年前に入会したが、催しの案内を頂いても、なかなか参加できずにいた。去年の3月に目についた、ソフトボール部の加入者募集の案内。月に二回ほど、月曜日の午前中か。練習場所は南町グラウンド。え！自宅からめっちゃめっちゃ近い！ええやんか！思い切って、入会希望の連絡を入れる。野球の経験は、少年時代の草野球くらいだ。中学、高校ではバスケットボールをやっていた。そうそう、早稲田に入学して1年で選択したのがソフトボールだった。その時も、授業が近くの東伏見のグラウンドでやってくれるので選んだのだった。西大立目という先生だった。一応、安いグローブと、ソックス、シューズをネットで用意して、3月に練習

に初参加した。私は66歳だったが、メンバーの平均年齢は高く、私は若手だとお聞きしてびっくりする。70代、80代の先輩が元気に楽しくプレーしている。感動を覚えた。きちんと準備運動をして、本格的なキャッチボール、トスバッティング、試合形式の練習。早稲田大学ソフトボール部出身の渡辺部長の練習メニューは毎回、充実していた。最初は、毎回の練習を終えると全身の筋肉痛を覚えた。心地よいものだった。毎回の練習が楽しみになった。最初のうちは、強い打球を捕るのに右手を添えて突き指をしたり、転んで擦り傷をしたりした。周りの先輩たちが、無理はしなくていいんだよ。ファインプレーはいらない。楽しんで安全にやればいいんだよ。と言ってくださったので、今は無理せず、楽しく、安全にプレーを心掛けている。イオンの駐車場で毎朝のラジオ体操の会やチョコザップの利用も長続きしなかった私だった。ソフトボール部の練習は、元気な先輩たちとの交流も楽しく、気力、体力の維持のために、今後もライフスポーツワークとして楽しく続けて参加していきたいと思う。

渡辺 徹 記

【今後の予定】

<スポーツ鑑賞部会（早慶戦）>

本号が皆様のお手元に届く頃、いよいよ秋のスポーツシーズンが始まります。野球早慶戦とラグビー対抗戦の観戦を予定しています。

・野球	11月01日(土)	第一戦	
・ラグビー	11月02日(日)	対帝京(秩父宮)	想定料金2,500円(指定席)
	11月23日(日)	対慶応(秩父宮)	〃 4,000円(指定席)
	12月07日(日)	対明治(国立)	〃 6,000円(指定席)

いずれも日程だけが決定していますが、チケット情報はまだ発表されていません。皆様への次回のお知らせは11月10日号なので間に合いませんので、些か気が早いのですが、現時点での皆様の御希望を野球・ラグビーの担当者に9月中を目途になるべくメールでご連絡頂きたくお願い申し上げます。

・野球 山口 yiu23466@nifty.com

野球につきましてはチケット情報は判明していませんが、春の予定をベースにしたチラシ(らしきもの)を今回お出ししますので、おおよその目安として下さい。

山口 謙二 記



・ラグビー 小野 t_ono_1120@yahoo.co.jp

ラグビー担当として、9月末までに申し込みをして頂いた方には、大学ラグビー部より各試合の詳細な情報が来た時点でメールにてお知らせをし、観戦希望可否の最終案内を致します。

小野 泰右 記



<映画鑑賞会>

日時 2025年9月25日(木)14時開演成美文化会館

9月の映画鑑賞会は日本映画界の巨匠と呼ばれる名匠小津安二郎監督の「東京物語」を上映致します。

1953年(昭和28年)制作の松竹映画です。この作品は制作当時日本でも高い評価を受けていましたが、その数年後海外で上映され、世界的に称賛され国内外の多くの映画監督や、批評家にも影響を与えた作品です。英国の権威ある映画誌「sight&sound」で10年毎に発表される世界の映画監督(358名)が選んだ世界ベスト映画で2012年には1位に輝き、10年後の2022年でも4位に選ばれた作品です。時代を越え制作後70年経

った今でも称賛され、愛され続けるのは何故か?、一度皆さんの目で確かめて頂きたい映画です。

小野 泰右 記

<オペラを楽しむ会>

・日時 2025年10月5日(日)13時開演 13時30分開演

・場所 アミューホール (清瀬駅北口徒歩1分)

・演目 ニーベルングの指環 第2夜 「ジークフリート」
(ベルリン・ドイツ・オペラ 2021年)

入場無料ですが、資料頂けるので200円のカンパをお願いします。ワーグナーの大作の第2夜です。6月に「序夜 ラインの黄金」を、8月に「第1夜 ワルキューレ」を上映済み。因みに「第3夜・神々の黄昏」は2026年1月11日の予定です。この作品全編で約16時間の作品ですから、第2夜もそのお積りでお出で下さい。

山口 謙二 記

<ニューイヤーコンサート>

- ・日時 2026年1月17日(土) 14時開場 15時開演
- ・会場 練馬文化センター 大ホール
- ・チケット S(1階席)3500円 A(2階席)2500円
- ・チケット購入希望者申し込先 メールアドレス: t_ono_1120@yahoo.co.jp
携帯(スマホ)番号: 090-7251-0648 (小野宛)

恒例の練馬稲門会主催の早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサートが開催されます。本ニュースの原稿が締め切られる現時点では(8/26)上記の概要しか解っていません。(楽曲、指揮者、他の出演者等)

しかしながら、練馬稲門会では9月中旬に詳細が決まり次第、チケットの先行販売の受け付けが始まります。

今の時点で鑑賞を希望される方は上記メール迄連絡を入れて下さい。希望者には詳しい内容が分かり次第メールで先行チケット購入の案内をお出します。(9月20日迄に送って頂ければ有難いです)

小野 泰右 記

東稲広報室

【皆様からのお便り】

<比護さんを悼む>

比護さん、こうして追悼文を寄稿することを誰が想像したでしょうか。順番が違うのではないのでしょうか。6月10日の夕刻、国米さんからご連絡を受けたとき、まさに、青天の霹靂、驚天動地の心境であり、何故、どうして、嘘でしょうと反芻しきり、頭は真っ白になり、時が止まった一瞬でありました。誠に、残念無念、余りにも早い旅立ちに、ただただ頭を垂れるばかりです。と同時に、この度の突然のことにご遺族皆様方のご無念はいかばかりかと拝察申し上げます。

比護さんと私とは、高田馬場では私が先輩、東久留米では比護さんが先輩、「草乃会」では同輩という間柄ですが、第2の人生では、実質的に比護さんが先輩であり、いろいろ教えていただきました。稲門会入会后、比護さんから「どうせ暇でしょう。今度市民大学で国米さんの講義があるので行きませんか。」とお誘いがあり、3回目最終日終了後、参加者から、「折角の機会なので、今後も続けませんか」との発案に一同賛成し、草食民族の講話に因んで「草乃会」と称し、爾来、毎月第1水曜日滝山団地の集会所に集まり、国米さんの講義半分、会員の自由討議半分の形式で運営され、これまで約9年続いています。長続きの背景には、事務局長比護さんのお人柄によるところが大きいと確信しています。一方、私は、稲門会には、遅れて入会しましたが、少しでもお手伝できればとの想いで、カラオケ部会長を10年務めさせていただきました。年2回の定例会のほかに、PBでプチカラオケ会を開き、この席でも、比護さんとご一緒させていただき、大いにエンジョイしました。比護さんは、メロディラインが穏やかで、聞き心地良く、自然に口ずさむ曲を選んでおられ、周りのギャラリーに安心感を与えていただきました。後ほど伺ったところでは、時折シャンソニエへ足を運んでおられた由で、矢張りと言ったわけでは、

私が最後にお会いしたのは、5月17日、レストラン「民芸」で、比護さん、栄田さんとの昼食会で、3時間たっぷりご一緒させていただき、いつもどおりのお人柄に接し、楽しいひとときを過ごさせていただきました。比護さん、長きに亘り私の第2の人生にお力添えいただき、その中で、だれからも好かれるお人柄、相手に決してストレスを感じさせない語り口、いつも肩に力を入れず飽くまで自然体で接する姿など、素晴らしい人間力を教えていただき、心から感謝申し上げます。これからも少しでも比護さんに近づいていけるよう努力を重ねてまいります。いまはただ比護さんのご冥福をお祈りするばかりです。どうぞ安らかに眠り下さい。

合掌 令和7年7月

高柳 康夫 記

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

母の五つの“push”に支えられて

長瀬 邦子 (S37 教育卒) 記

私の人生において母を抜きにして語ることはできない。母は明治から令和にかけて長い人生をかけ抜け、令和4年111歳の生涯を閉じた。

私達の家族は父が結核を患ったのを機に、東京から父の故郷、高知県に移り、祖父母の許に身を寄せた。この地(安芸市)は、岩崎弥太郎の生誕地としても知られている。見渡すかぎり田園風景が広がり、夏には川辺に何百という蛍が舞うのどかな地であった。父の死後(当時私4歳)もこの地に留まり、東京から来た母は、祖父母の援助があったとはいえ、心細かったに違いない。

母の最初のpushは、小学校時代引っ込み思案だった私に、勉強することで自信を持つことができるよう、励まし導いてくれたことだ。夏休みの「自由研究」なども、雑誌「子供の科学」を購入、そこからヒントを得て、観察研究を共にし学校で発表できるまでになり、次第に自分に対し自信を持つことが出来るようになり、勉強することが好きになった。

二つ目のpushは、昭和20年代の後半、学習塾など勉強を教えてくれる所がなかった時代に、母が県立高校の英語の先生のところに頼みに行ってくれ、中学3年間、先生のお宅に通い、当時の教科書“Jack and Betty”と分厚い英文法の参考書を使って教えていただいた。この事は、後に英文科を志望する基となった。

昭和30年代の初頭数年間、不思議なことに高知県では、県立高校へは無試験入学だったので、学区内の安芸高校に入学。片田舎には、予備校も塾もなかったので、頼るのは旺文社の「蛍雪時代」と参考書・問題集であり、自分でこつこつ勉強して行く以外にはなかった。この地域では、まだ女子が大学に行く人数は少なかったが、母は「これからは女性でも生活力を持たなければ」との強い信念があり、私を大学受験へと導いてくれた。これが母の三つ目のpushだった。この3年間は後にも先にも、私の人生で一番勉強した時期だった。国立大を第一志望として、5教科6科目を勉強したが、壁は厚く「桜散る」、早稲田大学教育学部英語英文科に合格。父も早大出身(政経学部卒)だったので、祖父母はとても喜んでくれた。昭和33年上京。現在なら飛行機で1時間20分だが、当時は、後免駅—高松—宇野(岡山県)—夜行寝台列車「瀬戸」で東京へというルートだった。

私が入学した昭和33年は岸内閣の時代で、安保闘争が激化し、全学連や各大学の自治会の学生達が、連日のようにデモに参加し、構内にも立て看板やのぼりが所狭しと並んでおり、学究的な雰囲気ではなかったと記憶している。一方、文化面では当時 関鑑子(せきあきこ)により、全国に普及していた「歌ごえ運動」が盛んな時代で、友人達と新宿の「歌ごえ喫茶」に行き、ロシア民謡を歌ったなつかしい青春の一コマもあった。

大学最後の出来事の一つとして、昭和37年卒業式を目前にした2月6日、アメリカの司法長官ロバート・ケネディが来日、大隈講堂での講演があり、入口まで友人と行ったが、反米運動の学生達にさえぎられ、入るのを止めた記憶がある。講堂にはヤジと怒号が飛び交ったらしいが、最後には反対派と賛成派とが一体となり、「都の西北」の大合唱で収束したとされている。

大学の後半は池田内閣の時代となり、日本経済は高度成長時代に入りつつある時代だった。当時「でもしか先生」という言葉が流布し、最初は私も教員志望ではなかったが、同好会「英語教育研究会」に所属しており、その会に顧問のような形で指導して下さっていた先輩 石原明氏(当時公立中教師、後に教育学部の教授に)の授業を見学に行ったりする中で、教師も目標の一つとなり、結果的には卒業後埼玉県の私立女子高校(現在は共学の進学校—大宮開成高校—として躍進)の英語教諭として社会への一步を踏み出した。8年半勤務し、結婚で退職、専業主婦となった。

四つ目の母のpushは、娘が小学校に入った頃、何もしないで呑気にしている私を見てか「せつかく資格があるのだから、一人でも二人でも教えたら」と助言され、最初は踏ん切りがつかなかったが、当時住んでいた家(練馬区関町)の2階で英語教室もどきを始めた。幸い、井草中学の生徒達が来てくれ、後には高校生も教えることになったので、結構忙しい日々だった。この時期の経験が後の私の人生を助けることになるとは当時は思いもし



なかった。

平成元年、今の東久留米の住居に移ったが、平成3年に夫が病死。元同僚のアドバイスもあり、若い頃勤めていた埼玉県の高校に頼みに行くことになった時、20年のブランクの為、ためらう私に母が「やろうと思えばやれるものよ。私も応援するから」と母の五つ目の push だった。4つ目の push の意義は大きく、5つ目の push を可能にさせる礎となった。20年のブランクを経て、幸い採用され教諭として12年、講師として3年、計15年、母が全面家事をしてくれたお陰で頑張ることが出来た。最初はかつての職場事情とは異なり、指導計画、進路指導、生徒指導と多岐にわたり色々あり、また印刷もガリ版からパソコンの時代にとめまぐるしく変化していて、機器に弱い私は苦勞したが、何とかこなすことが出来た。オーストラリアへの修学旅行引率3回、アメリカへのホームステイ引率（ユタ州ソルトレイク）など体験させてもらい、楽しい思い出もあるが、何よりも生徒との生活は私にとってかけがえのない宝であり、今も何人かの生徒達と交流が続いていることは教師冥利に尽きると幸せに思う。特に最後の15年間はもう一つの人生を自分の力でもう一度生きたような達成感があった。

私の人生は折々の母の力強い push と、加えて幸運にも恵まれていたことに感謝したい。

編集後記

今夏も、「地球沸騰化」時代に相応しい猛暑日連続の日々でしたが、会員みなさまはお元気にお過ごしされたでしょうか？8月5日（火）には、群馬県伊勢崎市で41.8度という日本新記録の最高温度を記録しました。一方、8月18日（月）には、東久留米市で一時間当たり100ミリの猛烈なゲリラ豪雨もありました。これらは温室効果ガスによる地球温暖化や、それに伴う偏西風の蛇行、海面水温の上昇が原因と報道されることが多いのですが、個人的にはそういった人間の営みを超越した、地球の歴史規模での気候変動の可能性もあるかなと感じます。過去には「氷河期」もありましたし。

いずれにせよ、小市民である我々は、それに合わせて生活せざるを得ないので、無理のない範囲でやって行きましょう。この原稿を書いているのは8月末ですが、今まではお盆を過ぎると、最高気温は高くとも朝晩はなんとなく涼しくなってきたものですが、その様な気配もないですね。蝉の声も聞こえることが少なくなりました。

次の東稲ニュースは11月発行です。さすがにそのころは、快適な秋になり早慶戦やラグビー等が楽しみな季節になると思います。

山縣 俊夫 記

編集委員：片平るみ・有賀千歳・片野尚樹・山縣俊夫（今回の担当）

